

DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査  
(2020年度 新型コロナ影響度特別調査 九州版)

## 〈要旨〉

1. (株)日本政策投資銀行は2012年より継続的に「アジア8地域・訪日外国人旅行者の意向調査」を公表し、2015年からは(公財)日本交通公社と共同で本調査を実施している。今般、世界的に感染が拡大している新型コロナウイルス感染症(以下、「新型コロナ」という。)が外国人旅行者の海外旅行への意向に与えた影響を調査すべく、アジア・欧米豪12地域(注)の海外旅行経験者6,266人を対象としたインターネットによる緊急アンケート調査を2020年6月2日~6月12日に実施した。
2. 本レポートは、同調査の中から九州地域と関係が深いと考えられる部分を抜粋している。全国結果については、『DBJ・JTBF アジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査(2020年度新型コロナ影響度特別調査)』(2020年8月)をご参照頂きたい。
3. 新型コロナ終息後における海外観光旅行への意向については、回答者の82%(うちアジア居住者86%・欧米豪居住者74%)が前向きな回答を示しており、コロナ禍にあっても引き続き海外観光旅行に対する強い関心が示されている。一方で、海外観光旅行の実施予定者であっても、新型コロナへの不安を引き続き抱いている。
4. 海外観光旅行の検討を再開するタイミングとしては、「抗ウイルス薬の開発など、新型コロナの脅威が消滅してから」、「渡航希望先の安全宣言後」等という回答が多く、訪日外国人旅行者数が従前通りに戻るには相応の時間を要すると考えられる。また、新型コロナ終息後の海外観光旅行においては、予算を増加し、滞在日数を長期化するという回答が相対的に多くなっている。
5. 新型コロナ終息後に観光旅行したい国・地域として、日本はアジアではトップ、欧米豪でも2位の人気であり、新型コロナ感染拡大前から変わらず日本人気は引き続き高い。「買い物」、「食事」、「治安のよさ」等に加え、「清潔さ」も高く評価されている。
6. 新型コロナ終息後の九州への観光旅行全般に期待することとしては「衛生面における配慮、清潔さ、消毒などのウイルス対策全般の継続」がトップであり、ウイルス対策全般に対する期待は高い。
7. 訪日外国人旅行者、特にアジアからのニーズを捉まえるためには、ウイルス対策全般の継続などの安全・安心に関する取り組みを更に進め、「清潔さ」という日本の強みを一層活かすことが重要となろう。また、これまでと比べて旅行予算が「上がる」、滞在日数が「長くなる」という回答が相対的に多かったことを含めて、訪日外国人旅行者のニーズを踏まえた準備を進めておくことが重要となってくると考えられる。

(注) 調査対象は、韓国、中国、台湾、香港、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、アメリカ、オーストラリア、イギリス、フランスの12地域

## 目次

1. 新型コロナ影響度特別調査（2020年度）概要・・・・・・・・・・・・・・・・ 2ページ
2. 新型コロナ終息後における海外観光旅行への意向は強い・・・・・・・・ 3ページ
3. 海外訪問実施予定者であっても新型コロナ感染への不安を抱いている・・・ 4ページ
4. 海外観光旅行の検討を再開するタイミング・・・・・・・・・・・・・・・・ 5ページ
5. 新型コロナ終息後は旅行予算の増加及び長期滞在化の可能性あり・・・・ 6ページ
6. 新型コロナ終息後も日本の人気は引き続き高い・・・・・・・・・・・・ 7ページ
7. 新型コロナ終息後に観光のために日本を訪問したい理由・・・・・・・・ 8ページ
8. 新型コロナ終息後に訪問したい日本の地域・・・・・・・・・・・・・・ 9ページ
9. 新型コロナ終息後の九州旅行全般に期待したいこと・・・・・・・・・・・・ 10ページ

## 1. 新型コロナ影響度特別調査（2020年度）概要

- 調査方法：インターネットによる調査
  - 実施時期：2020年6月2日～6月12日
  - 調査地域：韓国、中国、台湾、香港、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、アメリカ、オーストラリア、イギリス、フランスの12地域
- (注) 中国は北京および上海在住者のみ（割合は北京50%：上海50%）
- (注) 韓国、中国、台湾、香港、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシアの8地域の合計をアジア。タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシアの4地域の合計を東南アジア。アメリカ、オーストラリア、イギリス、フランスの4地域の合計を欧米豪としている。
- 調査対象者：20歳～59歳の男女、かつ、海外旅行経験者
- (注) 中国-香港-マカオ間、マレーシア-シンガポール間、タイ-マレーシア間、アメリカ-カナダ・メキシコ・ハワイ・グアム間、オーストラリア-ニュージーランド間、イギリス・フランス-欧州各国間の旅行については、海外旅行経験から除く
- 有効回答者数：上記各地域に居住する住民計6,266人
  - 協力実査会社：楽天インサイト株式会社

### ◆（図表1-1）有効回答数および訪日経験数

	回答者全体	うちアジア居住者						うち欧米豪居住者
		中国	台湾	香港	韓国	東南アジア		
総数	6,266	4,194	548	530	511	529	2,076	2,072
訪日経験無	3,260	1,611	129	91	83	147	1,161	1,649
訪日経験有	3,006	2,583	419	439	428	382	915	423
1回	1,079	866	172	93	50	132	419	213
2回以上	1,927	1,717	247	346	378	250	496	210

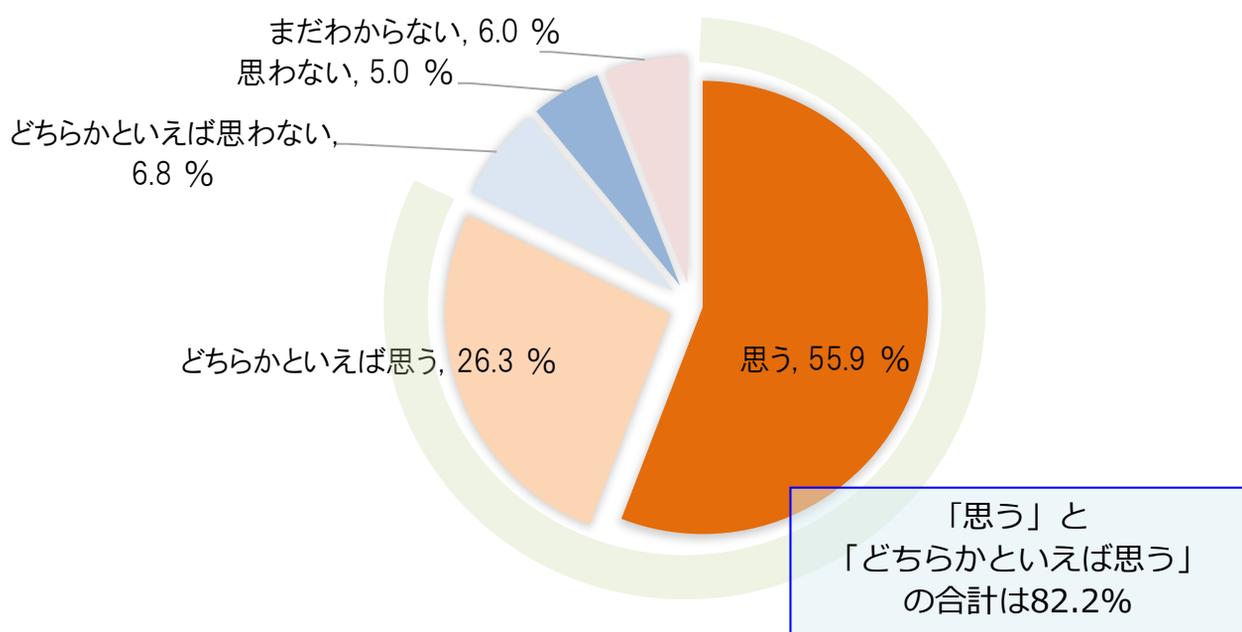
### ◆（図表1-2）男女比

	回答者全体	うちアジア居住者						うち欧米豪居住者
		中国	台湾	香港	韓国	東南アジア		
総数	6,266	4,194	548	530	511	529	2,076	2,072
男性 (%)	50.7	50.1	48.2	49.2	49.3	50.3	51.0	51.9
女性 (%)	49.3	49.9	51.8	50.8	50.7	49.7	49.0	48.1

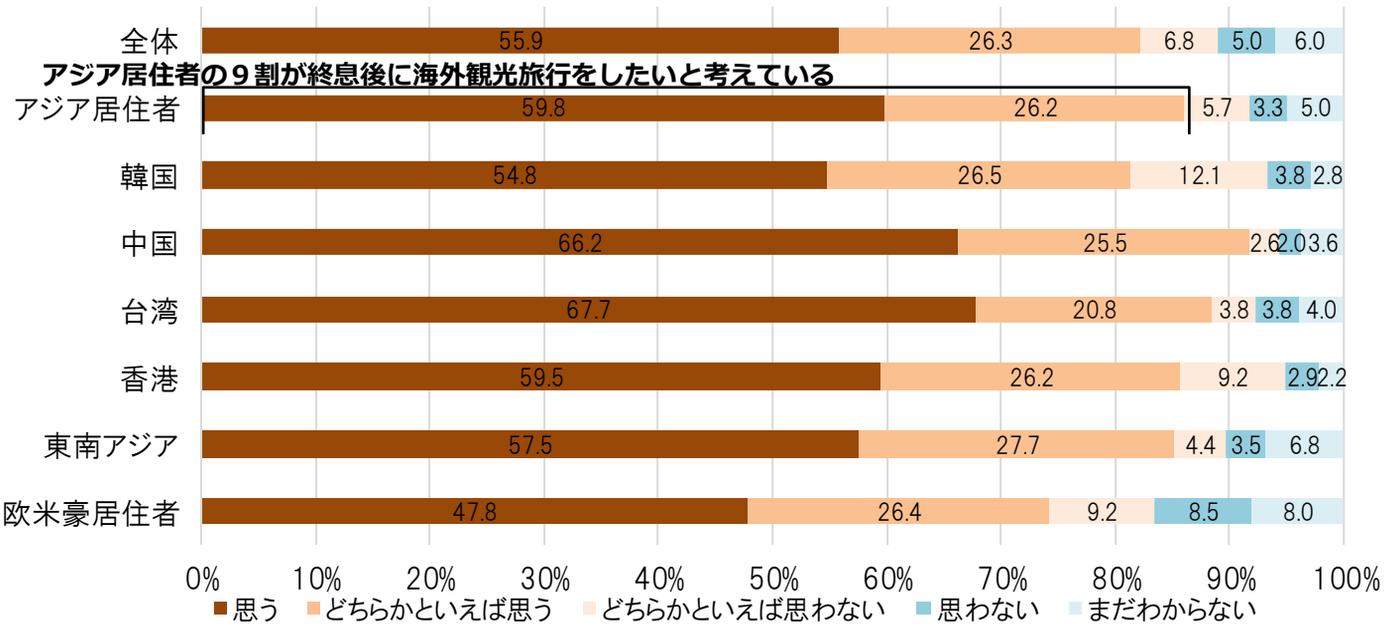
## 2. 新型コロナ終息後における海外観光旅行への意向は強い

- 新型コロナ終息後の海外観光旅行への意向は、アジア居住者・欧米豪居住者ともに強い。
- アジア居住者の方が欧米豪居住者よりも強い海外観光旅行への意向を示している。

(図表2-1) 新型コロナ終息後にまた海外観光旅行をしたいか (回答者全体)



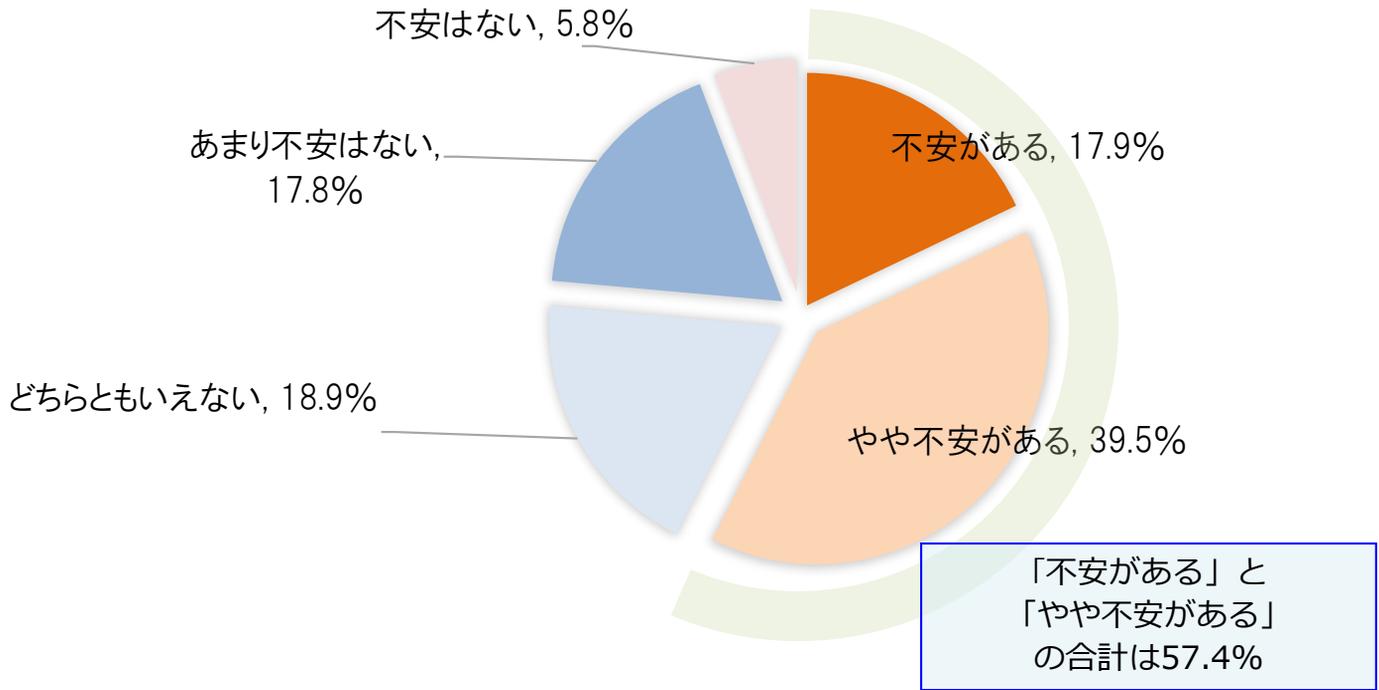
(図表2-2) 新型コロナの流行が終息し、平常状態に戻ったとき、また海外観光旅行をしたいと思うか (回答は1つ)



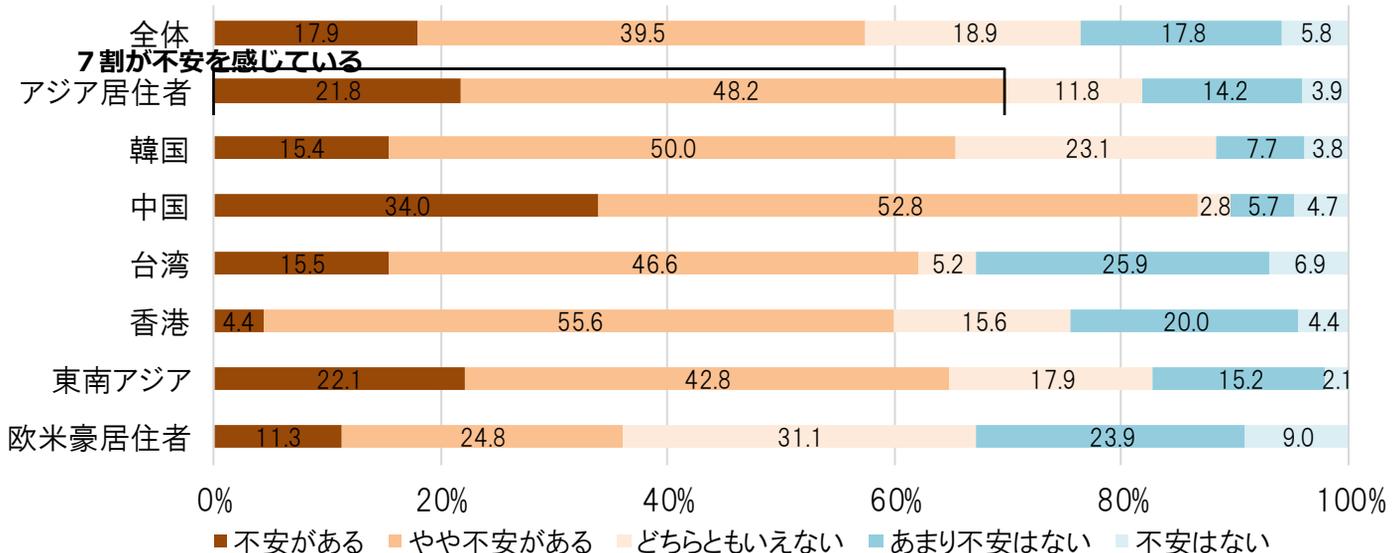
### 3. 海外訪問実施予定者であっても新型コロナ感染への不安を抱いている

- 海外訪問実施予定者であっても、アジア居住者の70%、欧米豪居住者の36%が新型コロナ感染リスクへの不安を抱いている。
- 特にアジア居住者の新型コロナに対する不安度の高さがうかがえる。

(図表3-1) 新型コロナ感染リスクへの不安度 (回答者全体)



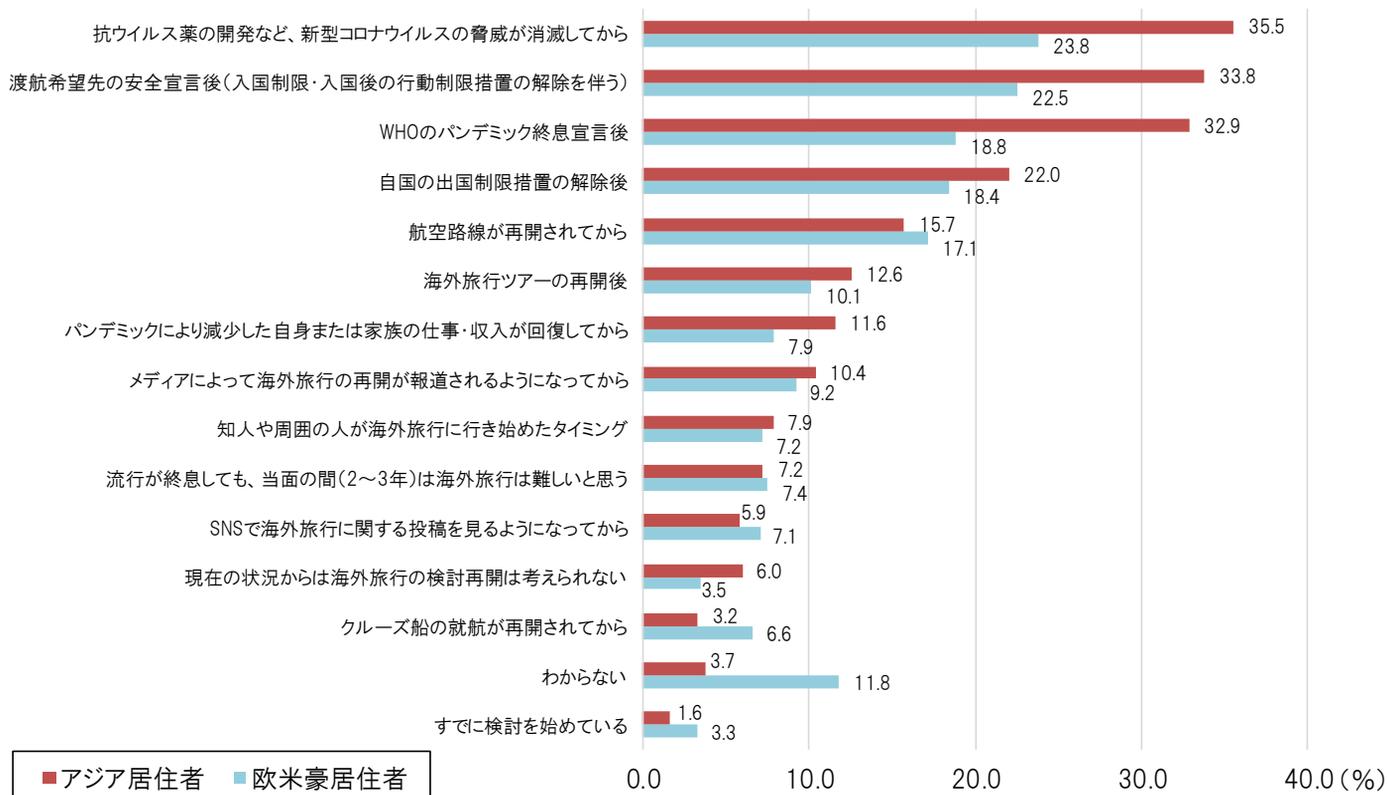
(図表3-2) 2020年6月以降の海外訪問における新型コロナ感染リスクへの不安度(回答は1つ)



## 4. 海外観光旅行の検討を再開するタイミング

- 海外旅行の検討を再開するタイミングは、アジア居住者・欧米豪居住者ともに「抗ウイルス薬の開発など、新型コロナの脅威が消滅してから」、「渡航希望先の安全宣言後」、「WHOのパンデミック終息宣言後」という回答が多く、訪日外国人旅行者数が従前通りに戻るには相応の時間を要するであろう。
- また、国・地域によって重視するタイミングに若干の違いが見られる。

(図表4-1) 次に海外観光旅行の検討を再開するタイミングはいつ頃になるか  
(回答はあてはまるものを最大3つまで)



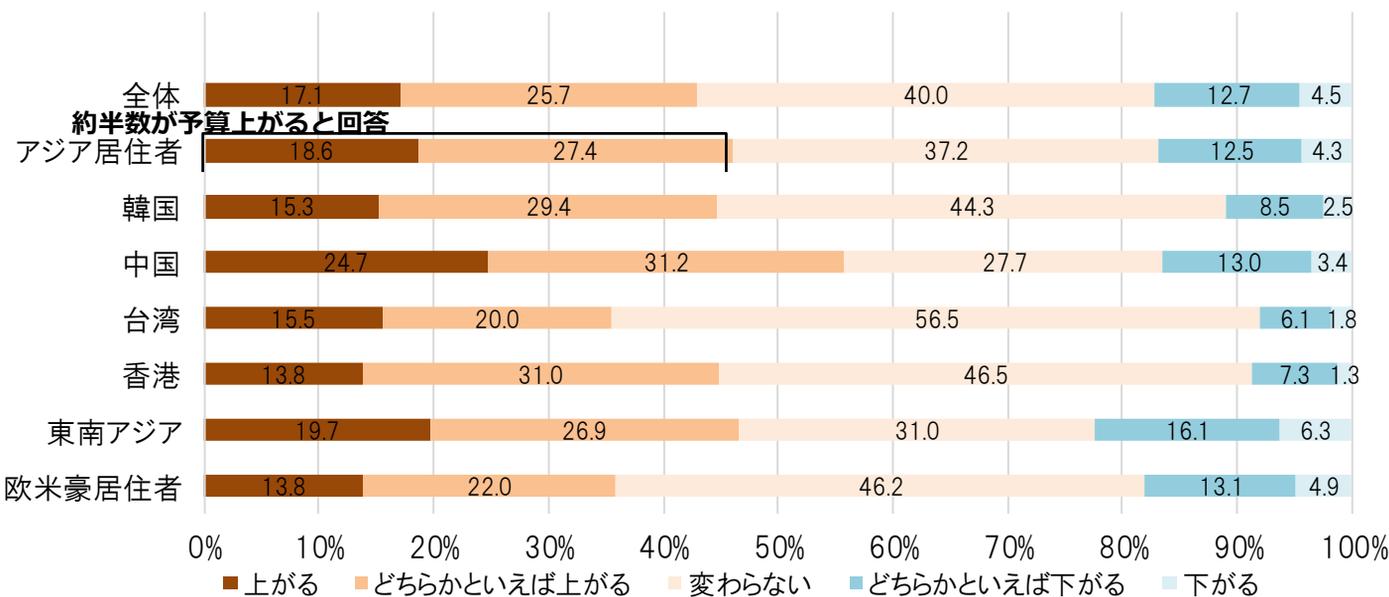
(図表4-2)

	1位	2位	3位
全体	抗ウイルス薬の開発など(31.6%)	渡航希望先の安全宣言後(30.1%)	WHOのパンデミック終息宣言後(28.2%)
アジア居住者	抗ウイルス薬の開発など(35.5%)	渡航希望先の安全宣言後(33.8%)	WHOのパンデミック終息宣言後(32.9%)
韓国	抗ウイルス薬の開発など(33.6%)	WHOのパンデミック終息宣言後(27.6%)	海外旅行の再開が報道されるようになってから(16.3%)
中国	抗ウイルス薬の開発など(42.0%)	渡航希望先の安全宣言後(39.8%)	WHOのパンデミック終息宣言後(32.7%)
台湾	渡航希望先の安全宣言後(44.9%)	抗ウイルス薬の開発など(37.5%)	自国の出国制限措置の解除後(31.3%)
香港	渡航希望先の安全宣言後(37.8%)	自国の出国制限措置の解除後(31.7%)	抗ウイルス薬の開発など(26.0%)
東南アジア	WHOのパンデミック終息宣言後(39.3%)	抗ウイルス薬の開発など(36.1%)	渡航希望先の安全宣言後(34.2%)
欧米豪居住者	抗ウイルス薬の開発など(23.8%)	渡航希望先の安全宣言後(22.5%)	WHOのパンデミック終息宣言後(18.8%)

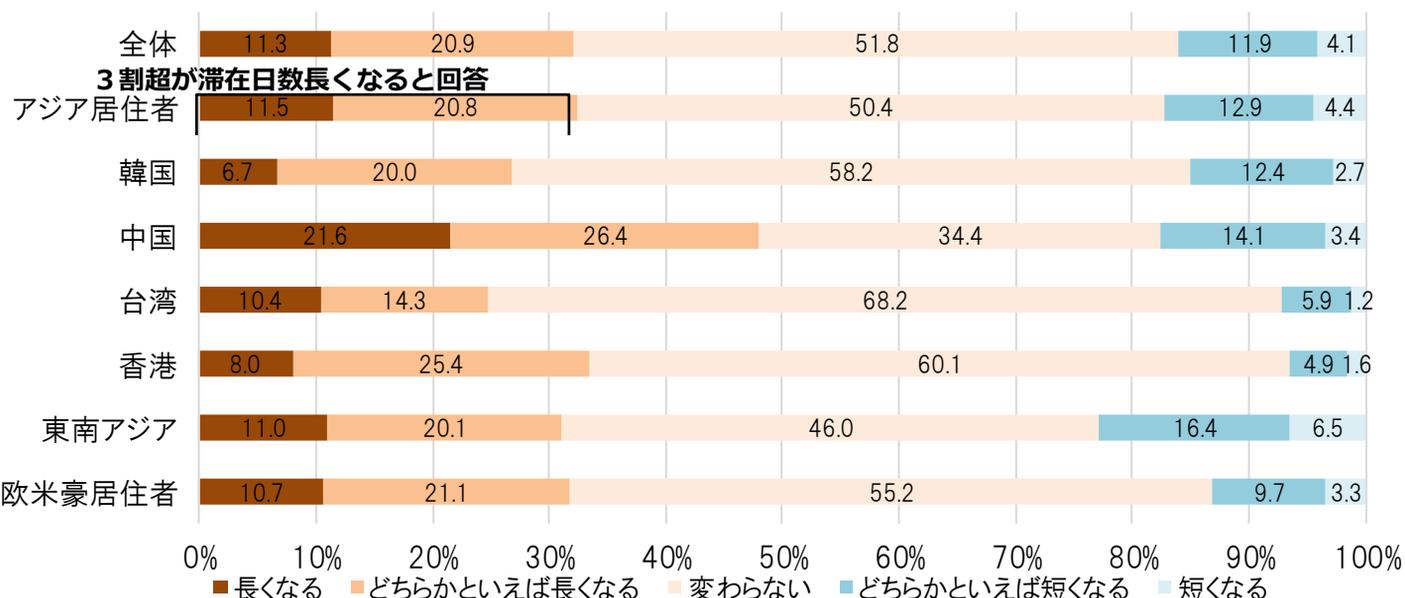
## 5. 新型コロナ終息後は旅行予算の増加及び長期滞在化の可能性あり

- 新型コロナ終息後の海外観光旅行について予算が「上がる」、「どちらかといえば上がる」と回答した割合は、「下がる」、「どちらかといえば下がる」よりも高くなっている。
- 滞在日数についても「長くなる」、「どちらかといえば長くなる」と回答した割合は、「短くなる」、「どちらかといえば短くなる」よりも高い。
- これらを踏まえると、新型コロナ終息後、旅行の予算は増加し、より長期滞在を求める可能性がある。

(図表5-1) 新型コロナの終息後、海外観光旅行の予算はどのように変化するか(回答は1つ)



(図表5-2) 新型コロナの終息後、海外観光旅行の滞在日数はどのように変化するとと思うか(回答は1つ)



## 6. 新型コロナ終息後も日本の人気は引き続き高い

- 新型コロナ終息後においても、海外観光旅行先としての日本人気は引き続き高く、アジア居住者ではトップ(56.3%)、欧米豪居住者でも2位(23.5%)の人気となっている。

※ 2019年度通常調査（2019年6月25日～7月8日実施。以下、「通常版調査」という。）において、日本の選択率は、アジア居住者55%（1位）、欧米豪居住者39%（6位）であった。

（図表6）新型コロナの流行終息後に、観光旅行したい国・地域（回答はあてはまるもの全て）

全体		
1位	日本	45.6 %
2位	韓国	21.9 %
3位	台湾	17.0 %
4位	オーストラリア	16.3 %
5位	タイ	16.3 %
6位	シンガポール	15.0 %
7位	ニュージーランド	14.6 %
8位	アメリカ	14.1 %
9位	スイス	12.1 %
10位	イギリス	12.0 %

アジア居住者		
1位	日本	56.3 %
2位	韓国	29.6 %
3位	台湾	22.6 %
4位	タイ	18.7 %
5位	シンガポール	17.2 %
6位	オーストラリア	16.1 %
7位	ニュージーランド	14.8 %
8位	中国本土	13.7 %
9位	スイス	12.1 %
10位	香港	11.3 %

欧米豪居住者		
1位	アメリカ	27.9 %
2位	日本	23.5 %
3位	カナダ	20.1 %
4位	イギリス	19.2 %
5位	オーストラリア	16.8 %
6位	フランス	16.6 %
7位	イタリア	15.9 %
8位	ドイツ	14.2 %
9位	ニュージーランド	14.1 %
10位	その他欧州諸国	13.2 %

香港		
1位	日本	76.4 %
2位	台湾	46.8 %
3位	韓国	28.7 %
4位	タイ	26.8 %
5位	オーストラリア	15.5 %
6位	イギリス	12.3 %
7位	ニュージーランド	10.9 %
8位	シンガポール	10.6 %
9位	スイス	9.8 %
10位	マレーシア	9.6 %

台湾		
1位	日本	75.3 %
2位	韓国	30.1 %
3位	ニュージーランド	18.4 %
4位	オーストラリア	15.5 %
5位	スイス	13.9 %
6位	アメリカ	13.5 %
7位	タイ	13.1 %
8位	中国本土	12.3 %
9位	シンガポール	12.1 %
10位	カナダ	11.5 %

中国		
1位	日本	64.9 %
2位	韓国	25.2 %
3位	シンガポール	17.1 %
4位	ハワイ	15.5 %
5位	ニュージーランド	15.3 %
6位	タイ	15.1 %
7位	オーストラリア	14.4 %
8位	フランス	13.4 %
9位	台湾	12.6 %
10位	マレーシア	10.1 %

韓国		
1位	日本	24.2 %
2位	ハワイ	23.6 %
3位	スイス	20.6 %
4位	ベトナム	20.4 %
5位	グアム	18.5 %
6位	台湾	18.2 %
7位	オーストラリア	18.0 %
8位	アメリカ	17.6 %
9位	カナダ	16.5 %
10位	スペイン	14.6 %

東南アジア		
1位	日本	51.9 %
2位	韓国	30.9 %
3位	台湾	20.4 %
4位	オーストラリア	16.4 %
5位	中国本土	15.1 %
6位	ニュージーランド	14.7 %
7位	シンガポール	12.5 %
8位	香港	11.6 %
9位	タイ	10.8 %
10位	スイス	10.8 %

（注）「旅行したい国・地域」と「回答者の国・地域」または「近隣国」が同じ場合、当該国・地域の回答はサンプル数から除いている。

## 7. 新型コロナ終息後に観光のために日本を訪問したい理由

- 日本は「買い物」、「食事」、「治安のよさ」等に加え、「清潔さ」が高く評価されている。こうした中、新型コロナ終息後は、ウイルス対策全般の継続などの安全・安心に関する取り組みを徹底するとともに、「清潔さ」という更なる強みを活かすことが重要だと考えられる。

(図表7) 新型コロナの流行終息後に、観光のために日本を訪問したい理由（回答はあてはまるもの全て）

		全体							
		うちアジア居住者					うち欧米豪居住者		
		韓国	中国	台湾	香港	東南アジア			
回答数(人)		2,584	2,151	113	334	368	359	977	433
回答割合 (%)	行きたい観光地や観光施設があるから	46.7	48.4	32.7	29.3	52.7	42.1	57.5	38.3
	食事が美味しいから	43.3	44.6	31.0	30.8	45.1	59.1	45.3	36.7
	以前も旅行したことがあり、気に入ったから	36.6	39.7	38.9	29.9	55.4	49.3	33.7	21.0
	清潔だから	36.0	36.7	22.1	21.3	32.6	42.6	43.1	32.1
	買い物がしたいから	33.5	36.8	28.3	30.2	38.3	56.8	32.1	16.9
	治安が良いから	32.9	33.8	21.2	21.0	36.7	37.0	37.3	28.4
	体験したいツアーやアクティビティがあるから	32.8	31.6	15.0	25.7	39.1	29.0	33.7	38.6
	リラックスできるリゾート地だから	29.7	32.1	8.0	34.4	45.9	47.1	23.3	17.8
	渡航時間が短いから	20.0	22.3	34.5	19.2	45.7	25.9	11.9	8.3
	予算が合うから	19.8	21.7	18.6	17.1	34.8	22.0	18.6	10.4
	泊まりたい宿泊施設があるから	16.6	17.5	9.7	13.8	10.3	24.0	20.1	12.2
	ナイトライフが楽しめるから	12.6	12.4	5.3	18.3	4.3	12.3	14.2	13.6
	長期滞在に適しているから	11.4	10.2	6.2	8.7	9.2	9.7	11.7	17.6
	高度な医療体制が整備されているから	10.6	10.6	5.3	13.2	6.8	5.8	13.4	10.6
	新型コロナウイルスの被害が少ない国・地域だったから	9.1	8.8	5.3	14.7	2.2	5.8	10.7	10.4
	多言語に対応しているから	7.8	7.3	4.4	11.1	7.6	3.6	7.5	10.6
	その他	1.8	1.3	0.0	0.3	0.8	0.8	2.0	4.4
	わからない/特に理由は無い	1.1	0.7	2.7	0.0	0.5	1.4	0.5	3.0

(注) 回答割合別に、①40%以上、②30～39.9%、③20～29.9%で塗り分けている。

## 8. 新型コロナ終息後に訪問したい日本の地域

- 九州は全体では東京（東京近郊を含む）、北海道、関西に次ぐポジション。
- 韓国や香港など東アジアからの訪問意向が相対的に高い。

(図表8) 新型コロナの流行終息後に、訪問したい地域（回答はあてはまるもの全て、12区分）

全体			欧米豪居住者			東南アジア		
1位	東京	46.6 %	1位	東京	53.1 %	1位	北海道	51.8 %
2位	北海道	41.8 %	2位	関西	30.3 %	2位	東京	51.5 %
3位	関西	36.6 %	3位	東京近郊	30.0 %	3位	関西	38.4 %
4位	東京近郊	29.8 %	4位	北海道	24.7 %	4位	東京近郊	30.9 %
5位	九州	25.9 %	5位	中国	21.9 %	5位	沖縄	28.0 %
6位	沖縄	24.3 %	6位	沖縄	20.1 %	6位	九州	22.8 %
7位	中部	17.5 %	7位	九州	18.5 %	7位	中部	13.0 %
8位	中国	14.6 %	8位	北陸	14.8 %	8位	中国	12.3 %
9位	東北	14.0 %	9位	四国	14.3 %	9位	東北	12.1 %
10位	四国	13.2 %	10位	東北	13.2 %	10位	四国	11.8 %
11位	北陸	12.5 %	11位	中部	12.9 %	11位	北陸	9.4 %
12位	新潟	9.9 %	12位	新潟	11.3 %	12位	新潟	9.0 %

アジア居住者			韓国			中国		
1位	東京	45.3 %	1位	東京	42.5 %	1位	東京	41.3 %
2位	北海道	45.2 %	2位	九州	40.7 %	2位	北海道	38.3 %
3位	関西	37.8 %	3位	北海道	37.2 %	3位	関西	36.5 %
4位	東京近郊	29.8 %	4位	東京近郊	31.9 %	4位	東京近郊	31.4 %
5位	九州	27.3 %	5位	沖縄	31.9 %	5位	九州	29.3 %

香港			台湾		
1位	東京	41.2 %	1位	北海道	45.4 %
2位	関西	37.3 %	2位	関西	40.2 %
3位	北海道	35.9 %	3位	東京	37.5 %
4位	九州	31.8 %	4位	東京近郊	31.3 %
5位	東京近郊	22.8 %	5位	九州	29.1 %

(注)回答に際して、東京と沖縄以外については、以下を例示をしている。

東京近郊(例:横浜、箱根、軽井沢、日光)、北海道(例:札幌、函館、ニセコ、知床)、東北(例:仙台、青森、秋田、山形、岩手、福島)、新潟(例:妙高、湯沢、佐渡)、北陸(例:金沢、富山、福井、立山・黒部)、中部(例:名古屋、飛騨/高山、伊勢志摩、静岡)、関西(例:京都、大阪、奈良、神戸)、中国(例:広島、岡山、鳥取、松江)、四国(例:香川、直島、愛媛、徳島、高知)、九州(例:福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島)

## 9. 新型コロナ終息後の九州旅行全般に期待したいこと

- 九州旅行に期待することについては、「衛生面における配慮、清潔さ、消毒などのウイルス対策全般の継続」がアジア居住者、欧米豪居住者ともに最多であり、ウイルス対策全般に対する期待は高い。
- また、「文化体験アクティビティの種類や質の充実、ブラッシュアップ」に対する回答も多いことから、こうした訪日外国人旅行者のニーズを踏まえた準備を進めておくことが重要になってくると考えられる。

(図表9) 九州への旅行に期待したいこと (回答は3つまで選択)

		日本旅行への期待		九州旅行への期待						
		全体	うちアジア居住者	韓国	中国	台湾	香港	東南アジア	うち欧米豪居住者	
回答数(人)		2,584	668	588	46	98	107	114	223	80
回答割合 (%)	衛生面における配慮、清潔さ、消毒などのウイルス対策全般の継続	36.1	33.2	32.3	17.4	36.7	32.7	34.2	32.3	40.0
	文化体験アクティビティの種類や質の充実、ブラッシュアップ	24.5	31.1	32.1	30.4	34.7	48.6	23.7	27.8	23.8
	リーズナブルな日本食レストランの充実	29.1	26.5	28.1	37.0	15.3	28.0	41.2	25.1	15.0
	観光地やレストラン、宿泊施設などでの英語・多言語による案内、表示のブラッシュアップ	21.2	26.2	27.4	19.6	28.6	27.1	21.1	31.8	17.5
	リーズナブルな宿泊施設の拡充	26.0	24.6	24.5	17.4	8.2	36.4	29.8	24.7	25.0
	観光地や観光施設へのアクセス改善	20.7	21.4	21.4	32.6	16.3	23.4	21.9	20.2	21.3
	自然体験アクティビティ(スキーやサイクリング、フィッシング等)の種類や質の充実、ブラッシュアップ	18.8	20.7	23.0	13.0	25.5	30.8	23.7	19.7	3.8
	混雑を回避するための事前予約や入場制限などの措置	20.3	19.0	17.7	19.6	20.4	13.1	16.7	18.8	28.8
	低価格	18.5	15.3	15.0	21.7	1.0	5.6	14.9	24.2	17.5
	高価格でも、価格に見合った日本食レストランの充実	11.9	12.0	11.2	10.9	14.3	6.5	13.2	11.2	17.5
	コロナウイルスに関する英語・多言語での情報公開	12.0	12.0	12.6	10.9	14.3	6.5	7.0	17.9	7.5
	高級宿泊施設の拡充	7.4	9.7	8.7	6.5	12.2	4.7	8.8	9.4	17.5
	通信環境の改善(インターネット、Wi-Fi等)	10.7	9.4	9.2	13.0	11.2	9.3	5.3	9.4	11.3
	高価格でも、価格に見合ったサービスや施設の充実	9.8	9.4	9.0	15.2	4.1	5.6	7.9	12.1	12.5
	その他	0.4	0.3	0.3	2.2	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0

(注) 回答割合別に、①40%以上、②30~39.9%、③20~29.9%で塗り分けている。



©Development Bank of Japan Inc.2020

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、取引等を勧誘するものではありません。本資料は当行が信頼に足ると判断した情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性・確実性を保証するものではありません。本資料のご利用に際しましては、ご自身のご判断でなされますようお願い致します。本資料は著作物であり、著作権法に基づき保護されています。本資料の全文または一部を転載・複製する際は、著作権者の許諾が必要ですので、当行までご連絡下さい。著作権法の定めに従い引用・転載・複製する際には、必ず、『出所：日本政策投資銀行』と明記して下さい。

(お問い合わせ先)

株式会社日本政策投資銀行 九州支店

〒810-0001

福岡市中央区天神2-12-1 天神ビル2F

Tel: 092-741-7737

株式会社日本政策投資銀行 南九州支店

〒892-0842

鹿児島市東千石町1-38 鹿児島商工会議所ビル

Tel: 099-226-2666